



11 番  
吾郷孝枝 議員  
(日本共産党)

### 教室にエアコン設置を早急に

子供たちがより良い環境で学べるよう、教室にエアコンを設置する自治体が岐阜県内でも6割を超えました。教育環境の整備は市町村の責務です。優先度の高い中学校から教室にエアコン設置を。

### ◆教育部長

現段階では、教室にエアコンを設置することは考えていません。今年度、夏場の普通教室内の最高気温を継続的に観測して実態調査をしたいと考えています。

### ヘルプマークの導入と、下呂駅にエレベーター設置を

見た目では障がいがあるとかかりづらい人が、周囲から手助けを得られやすいようにするヘルプマークが、今年7月にJ-1Sに登録され全国的な広がりが期待されています。ヘルプマークの本格的な導入を実施してはどうか。また、車椅子の人や足の不自由な人にとって、駅ホームにエレベーターすらないのでは、おもてなしの観光地とは言えません。下呂駅にエレベーター設置を。

### ◆市長

ヘルプマークについては、市民の皆さまに広く周知し、理解いただいたうえで使用することが効果的と考えています。県の実施動向を見ながら緊密な連携を図り、普及推進に繋げていきます。

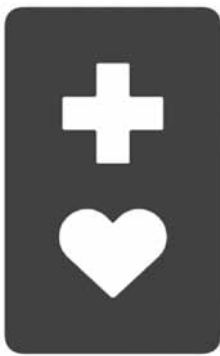
駅のエレベーターについては、上京した折にJR東海本部を訪問し、駅のバリアフリー、エレベーターの設置について検討いただきたいと強く要望しました。

### 住民健診で緑内障の早期発見を

視覚障害の原因疾患の第1位が緑内障です。40歳以上の日本人の20人に1人が緑内障と推定されています。住民健診で緑内障の検診を実施するように。

### ◆健康福祉部長

緑内障は、予防できる生活習慣病としての扱いではないため、現在の健診では、受診者全員を対象とすることができないのが現状です。国保特定健診の50歳、55歳、60歳、65歳の、節目年齢で実施している眼底検査でみつかることがあるので受診ください。



赤色に白文字のヘルプマーク



13 番  
中島達也 議員

### 濃飛横断自動車道、実現に向けた市長の姿勢を問う

市長は公式の場で「濃飛横断自動車」の必要性を発言されているが具体的な取り組みは。商工会、観光協会などの団体からも要望があり、今こそ議会、官民一体となった力の結集と、市長のトップセールスが欠かせないと思うが。実現に向けた取り組みは。

### ◆市長

下呂市を東西に貫く「濃飛横断自動車道」は、南北の基軸である国道41号と併せて、今後の下呂市の発展を図るうえで特に重要な社会基盤です。高速道路の空白地帯である下呂市にとって、市民生活や産業経済活動を行う上で、高速道路網へのアクセス整備は必要不可欠です。このため沿線の三市一村で組織する「濃飛横断自動車道事業促進期成同盟会」が中心になって、積極的な要望活動に取り組めます。議会の皆さまや、関係する経済団体の皆さまとの連携をより一層強化し、官民一体となって、一刻も早い事業の完成に向け

て取り組んでいきます。

### 高齢化社会に対応した公共交通のあり方について

多発する高齢ドライバーの自動車事故の背景の1つに、「地域公共交通の充足」すなわち「高齢者の足」が確保されているかがあると思う。今年度大幅な見直しをされると聞いているが、どのような手法で地域住民の要望にこたえるのか。

### ◆生活部長

下呂市地域公共交通会議を中心として、地元交通事業者をはじめ各種団体と連携し、新たな下呂市地域公共交通網形成計画の策定をしていきます。

策定にあたっては、医療、福祉、買い物などで利用されている方々のご意見もいただきながら、下呂市内の各地域の状況を調査・把握し、ニーズに見合った路線・ダイヤの見直しをすすめていきます。下呂市内全域のバランスを考慮した公共交通網の策定を目指すものです。





7 番  
宮川 茂 治 議員  
(日本共産党)

**旧県立下呂温泉病院跡地の今後について**

旧県立下呂温泉病院の跡地を今後どのようにされるのか。今後の跡地の活用計画と時期について説明を求めます。

◆市長公室長

現在の計画では、ランドマーク整備と二次交通発着所、駐車場整備を予定しています。しかし、この計画はあくまでも案であり、「下呂市地域再生計画事業構想・基本設計業務委託」の中で、関係団体などと協議しながら構想を作っていきます。時期については、何とか本年9月末までに構想を策定し、平成30年度に実施設計、平成31年度・32年度の2力年で工事を実施したいと考えています。

**下呂市最終処分場建設について**

下呂市の最終処分場の建設については、住民の方から健康面において心配されるという意見を聞く。健康被害に大きな影響が懸念されるダイオキシンの問題について、市はどのように捉えているか。

◆市長

平成33年度末の完成を目前に、「安心で安全」な施設の建設を目指し、地域の方のご意見をお聞きしながら進めていきます。ご質問のダイオキシンについては、法に基づいた検査をしっかり行い、基準以内の数値をクリアし、「安心で安全」な施設運営を行って行きます。これらの施設の建設にあたっては、地域の皆さんが苦渋の選択で引き受けて頂いたことを、市民の皆様方にもご理解して頂きたいと思えます。

◆環境部理事兼環境施設対策監

現在四美地内で埋立てしている焼却灰の、平成28年度におけるダイオキシン類の検査数値は、国が示す基準値を大きく下回っています。また過去10年間基準値を超えたことはありません。最終処分場からの放流水についても、基準値をはるかに下回っており、こちららも過去10年間基準値を超えたことはなく、施設管理面でもまったく問題なく安全であることをご理解ください。ダイオキシン類の対策については、クリーンセンターをはじめ最終処分場も法の定めにある検査を実施し、その検査結果を公表するとともに、地域の皆様方に安心していただけるようしっかりとした管理運営を行ってまいります。



10 番  
一木 良 一 議員

**猟友会が求める有害鳥獣丸ごと処理施設整備進捗状況**

新処理方式、環境基準データなどについて。

◆農林部長

昨年、ERCMという新しい処理方法を猟友会の皆様にもご視察いただいたところです。この方式は、熱分解による有機物処理という新しい技術で、環境にも優しく、ランニングコストも比較的安価であるという施設です。1カ月以内には、排出される物質についての検査結果を提出いただけたらと思いますので、ご報告させていただきます。

**南ひだ森林組合、小坂町森林組合併までの課題と条件**

小坂町森林組合の経営改善は、予定どおり進んでいるのか。

◆農林部長

平成28年は、予定を上回る経営改善が図られたところです。単年の損益計算においては、赤字を計上しておりますが、貸借対照表においては、自己資本比率が78.8%となっております。同程度の会社にな

において自己資本比率が50%を超えていれば健全であるとされていますので、単年の赤字を解消できれば、健全な状況であると思われることもできます。早期に経営状態を健全化していただいた上で、組合員の信頼を回復することが最も大事なポイントです。

**日本酒での「乾杯条例」の制定を**

日本の文化の再認識と地域振興のため。

◆観光商工部長

乾杯条例については、個人の嗜好に関わることもあり、自治体が条例を制定することについては、賛否両論あるとお聞きしています。既に制定されている自治体の状況や効果を参考に、関係する事業者の方々のご意見も伺いながら、検討していきたいと思えます。

**小坂町旧湯屋小学校校舎について**

旧湯屋小学校を今後、市としてどのようにされるのか。解体か保存か。

◆小坂振興事務所長

市は、地域としてどうしていくのかについて、意見聴取していきます。